

一、次の文章を読んで以下の問いに答えよ。

私は、今の時代は、いろいろなことが便利になり、【A 近道】が非常に増えた時代だと思っている。何かをやるかと思つたときに、さまざまな情報があり、【B □易】な道、やさしい道が目の前に数多くある。楽に進める①カンキョウも充実している。昔は、遠い、一本の道しかなかった。(a)、選択の【C □地】なくその道を歩んだけれど、今は近道が他にたくさんできている。わざわざ一番遠い道を選んで行くのは損だという思いにかられる。その横では近道で通り過ぎてゆく人がたくさんいるのだから、自分自身で、「何をやっているのだ」と思うこともあるだろう。(b)、【D 昔よりも選択が難しい時代なのかもしれない】。しかし、遠回りをすると目標に到達するのに時間はかかるだろうが、歩みの②カテイで思わぬ発見や出会いがあつたりする。将棋でも、直接対局に関係ないように思えることが、あとになってプラスになつたということはいろいろある。対局で、【E 未知】の場面に③遭遇したときには、直接的な知識や経験以外のものが役に立ちたりするのだ。

若いころ、一人で考え、学んだ知識は、今の将棋では古くなり、何の役にも立たない。(c)、自分の力で吸収した考える力とか未知の局面に出会ったときの対処の方法とか、さまざまなことを学べたと思つている。私は、自ら努力せずに効率よくやろうとすると、【F 身につくこと】が少ない気がしている。近道思考で、簡単に手に入れたものは、もしかしたらメッキかもしれない。メッキはすぐに剝けてしまうだろう。

ビジネスの世界でも、最近ではプロジェクトを組んで進めることが多いという。プロの棋士の間でも、集まって【G 共同】で研究や④ケントウをしたりすることがある。私は、【ア 的】には一人で考えなくてはいけな思つている。将棋の場合、対局は一人で考えて答えを見いだしていくのだ。一人で考えていき、あるところまで到達する——そのうえで共同して知恵を出し合うのでなければ意味がないと思つている。

確かに、プロ同士二、三人で一緒に研究したほうが、ある特定の局面が問題になったときなどは、はるかに早く理解できる。(d)、一人で考えると、誰でもひとりよがりとか自分の考えに⑤コシツしてしまう部分がある。何人かの人と共同でケントウすると、理解の度合いが二倍というよりも二乗、三乗と早く進んでいくのは確かだ。だからといって、それに全面的に頼ってしまうと、自分の力として勝負の場では生かせないだろう。基本は、自分の力で一から考え、自分で結論を出す。それが【H 必要不可□】であり、前に進む力もそこからしか生まれないと、私は考えている。

(「決断力」羽生善治)

問一 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直し、漢字はその読みを答えよ。

- ①カンキョウ ②カテイ ③遭遇 ④ケントウ ⑤コシツ

問二 空欄 a～d に入る語として、最もふさわしいものを次の中から選び、それぞれ記号で答えよ。

- 1 だが 2 というのも 3 逆に 4 つまり 5 そのため

問三 □ア に入る漢字二字の語を本文中より抜き出して記せ。

問四 【A 近道】について、ほんではどのようにすることですか、「いこと」の形となる部分を本文中より十七字で抜き出して記せ。

問五 【B □易】について、□に入る漢字一字の語として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- 1 交 2 平 3 安 4 賢 5 不

問六 【C □地】について、□に入る漢字一字を答えよ。

問七 【D 昔よりも選択が難しい時代なのかもしれない】について、なぜそう言えるのですか、その理由として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- 1 近道に行く人を見ると、選択したことに気持ちが落ち着かなくなるから
- 2 多くなった近道の存在が、どれを選べば良いか迷わせるから
- 3 数多い道の中から、わざわざ遠回りの道を選ぶのは大変なことだから
- 4 近道を選ぶのは、将棋が強くなることと結びつかないから
- 5 やさしい道が目の前にあると、ついそれを選びたくなくなってしまふから

問八 【E 未知】、【G 共同】の対義語を答えよ。

問九 【F 身につくこと】について、どのようなものことですか、本文中より五字の語句を抜き出して記せ。

問十 【H 必要不可】について、「なくてはならない」の意味となるように□に入る漢字一字を答えよ。

二、次の文章を読んで以下の問いに答えよ。

終戦のよく年、父は仏印から帰ってきた。父がいたとき住んでいた世田谷の家は①センサイにあつて焼けており、僕らは母方の叔父にかりた鶴沼の別荘で父をむかえた。革製の長持のように大きなリュックサックを背負った父は、玄関で僕に顔を合せると「やあ」とだけ云つて恥しそうにだまつてしまった。十幾年ぶりといっしょに暮らしてみると、父というよりは遠い親戚のようであつた。親戚の老人が上京した途中で「ちよつと、よせてもらいます」と云つた感じなのだ。この感じは日がたつにつれて更められるどころか、かえつて【A 居坐りこんだお客さん】という恰好になつてしまった。実際それは妙なものであつた。親子三人食卓をかこんでも、僕と母との前には見えない幕がたれていて父は這入りこむことが出来なかつた。二ぜん目のお茶碗をカラにした父は、【B □をひねつて】考えこむそぶりです。「【C また、こんなにオカズが余つてしまつて、……】。」とひとりごとのように云つて茶碗を持ち上げては、自分の手を恥じるかのように、またそつと引ッこめてしまふ。……僕は、すでに銜つて親②フコウぶろうとするほど若くはない。けれども自ら（ a ）じみてるのを意識しながら、「お父様」などと呼びかけて、そんなことは御遠慮なさらなくても、と云つたりすることが出来るほどには老獪でない。結果として、父にも僕らにも、たえがたい沈黙がやってくる。父をどう呼ぶべきかについても僕はまた、ひと苦勞しなければならなかつた。たしか以前には、おとうさん、と呼んでいた。だが、それはどうも余りに（ b ）ッぽい。オヤジ、ムスコ、とおたがいに呼びあうことができたなら、どんなに③ソウカイだろうと思つたが、それも出来ない。【D しかななく、「おっさん」と呼んでおくことにした】。

父はほとんど一日中庭にはかりいた。ご飯がすむと、【E もう逃げ出すように庭へ出て】、何をしているのかすっかり暗くなるまで上つてこない。雨が降つても家の中にはいないので、僕のレインコートを一着完全にダメにしてしまった。

そんな生活がはじまつて一と月ばかりたった或る日のこと、それがどんな日であつたか忘れてしまふほど驚くべきことが起つた。三人が例によつて（ c ）夕食のお膳をかこんでいたとき、ちよつとしたことで僕は母に文句を云つた。すると突然父は僕に箸を投げつけた。

「何だ、お前のその口のきき方は。」

「でも、……」と云いかけて僕は、一瞬のうちに（オッサン）とは呼び得ない父になつていてのを悟つた。それで僕はやりやすくなった。【F 息子としてふるまう目標が一つできたと思つた】。

〔剣舞〕安岡章太郎

* 仏印…「フランス領インドシナ」の略称。現在のベトナム・ラオス・カンボジア。

* 長持…衣服や寝具をいれる箱。

* 銜つて…ひけらかして。みせびらかして。

問一 傍線部①②③と同じ漢字を使う熟語を次の中から選び、記号で答えよ。

①センサイ

1 天サイ

2 色サイ

3 伐サイ

4 救サイ

5 記サイ

② フコウ

1 良コウ 2 時コウ 3 重コウ 4 忠コウ 5 投コウ

③ ソウカイ

1 更カイ 2 業カイ 3 全カイ 4 打カイ 5 決カイ

問二 空欄 a～c に入る語として最もふさわしいものを次の中から選び、それぞれ記号で答えよ。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|---|-------|---|----|---|------|
| a | 1 | 年寄り | 2 | 芝居 | 3 | 説教 | 4 | 大人 | 5 | 所帯 |
| b | 1 | 哀れ | 2 | 荒 | 3 | 男 | 4 | 子供 | 5 | 水 |
| c | 1 | 暖かい | 2 | 珍しい | 3 | つつましい | 4 | 暗い | 5 | 気まずい |

問三 【A 居坐りこんだお客さん】について、ここではどのような存在のことですか、その説明として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- | | | | |
|---|-------------|---|--------------|
| 1 | みすぼらしく哀れな存在 | 2 | 楽しくほほえましい存在 |
| 3 | 腹立たしく邪魔な存在 | 4 | やっかいで気づまりな存在 |
| 5 | 開き直った図々しい存在 | | |

問四 【B □をひねって】について、□に入る漢字一字を答えよ。

問五 【C また、こんなにオカズが余ってしまったて、……】について、そう口にする父の気持ちの説明として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- | | |
|---|------------------------------------|
| 1 | お代わりが欲しいけれども、家族に対して気おくれしてしまう気持ち |
| 2 | こんなにオカズを作らなくても良いのに、と行き過ぎた贅沢を戒める気持ち |
| 3 | お代わりの要求に気づかないなんて、と家族の無理解を責める気持ち |
| 4 | せつかくのオカズを残すことになって、作った妻に申し訳ない気持ち |
| 5 | こんなに食欲が落ちてしまった、と自分の体調を危ぶむ気持ち |

問六 【D しかたなく、「おっさん」と呼んでおくことにした】について、そのようにした私の気持ちはどのようなものだと考えられますか、本文中より漢字二字の語を抜き出して記せ。

問七 【E もう逃げ出すように庭へ出て】について、そうする理由を示した部分を本文中より「　　から」の形となる三十五字以内で探し、最初と最後の五字ずつを記せ。

問八 【F 息子としてふるまう目標が一つできたと思った】について、そのように思った私の気持ちの説明として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えよ。

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 自分に対する父の言葉に腹を立て、いつか仕返しをしてやりたいという気持ち |
| 2 | 父との関係を再確認して、今後はそれにふさわしい行動をとろうという気持ち |
| 3 | 父の態度に感動し、将来は父のような人間になりたいという気持ち |
| 4 | これまでの父への態度を反省して、きちんと謝らなくてはという気持ち |
| 5 | 父に対しては、今後も母と協力していかないと大変なことになるという気持ち |

解答用紙
国語

受験番号
氏名
得点

※には記入
しないこと

一					
問九	問八	問五	問四	問二	問一
	E			a	④ ①
	G	問六		b	
		地		c	
		問七		d	
問十				問三	
必要			こと		⑤ ②
不可					
					③

※小計1

二							
問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
						a	①
						b	②
						c	③

※小計2